

まほろば秦野通

令和7年1月29日

タイトル	かながわの遺跡展 「縄文ムラの繁栄-かながわ縄文中期の輝き-」を実施します
When (いつ)	2月4日（火曜日）～3月2日（日曜日） 午前9時～午後5時 ◇展示解説（30分程度） 2月 8日（土曜日）11時～、14時～ 2月16日（日曜日）11時～、14時～ ◇関連講演会 「縄文時代中期の社会・文化交流-ひとの動きモノの動き-」 2月22日（土曜日）14時～16時 講師：井出 ^{い で} ^{ひろまさ} 浩正氏（東京国立博物館調査研究課考古室長）
Where (どこで)	はだの歴史博物館 第1、2企画展示室 （所在地：秦野市堀山下380-3）
Who (だれが)	◇ 県教育委員会 ◇ 市教育委員会
What (なにを)	県内の遺跡から出土した縄文時代中期の出土品を展示します。
How (どのように)	◇ 縄文時代集落研究の歩みとかながわ ◇ 縄文時代中期集落〈ムラ〉のすがた ◇ 縄文ムラ繁栄の背景 ◇ 縄文ムラ繁栄の終わり
Why (なぜ)	約5,500～4,500年前の縄文時代中期は、縄文時代の中でも最も繁栄した時代と言われています。 県内では中央に広場を囲んで住居が環状に配置される集落〈ムラ〉がつくられ、力強い造形の土器、土偶やユーモラスな形の土製品、県外からもたらされたヒスイや黒曜石などで作られた石器や石製品が大量に出土し、当時の社会や生活をダイナミックに語っています。 本展では、かながわの縄文時代中期を代表する選りすぐりの出土品を一堂に展示し、自然豊かな神奈川の地で栄えた縄文ムラ繁栄の背景について迫ります。
過去の実績	企画展「食と農」を令和6年10月29日～1月13日に開催しました。

今後の取り組み		令和7年度に年間8本の企画展を予定しています。	
取材 対 応	撮 影	写 真	動 画
		☒ ・ 否	☒ ・ 否
	インタビュー ー 対応者	よみがな よこやま りょうと	肩書 学年 クラス等
		氏名 横山 諒人	主査
	制限内容や 注意事項	遠景撮影は可、近景については県教育委員会に確認が必要となります。	
問い合わせ (当日の担当者)		生涯学習課文化財・市史担当：横山 諒人 電話：0463（87）9581	